

身近に潜む火災危険を排除せよ

凡事徹底

リチウム
イオン
電池編

リチウムイオン電池を使用した身近な製品例

リチウムイオン電池？

- 軽量・小型でありながら、高容量・高出力の電池
- 大量の電力を必要とする製品に使用されとるんよ

モバイルバッテリー

スマートフォン

充電式掃除機



身近な製品から火災のおそれが…

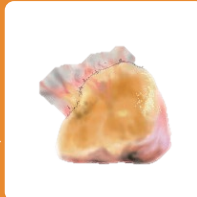
水没

水没により水が内側に染み込み、通電時にショートして発火



廃棄

電池を捨てる際に、適切に処理せず、電池同士が接触し発火



正しい廃棄方法

家庭の場合



事業所の場合



高温

暖房器具で暖められ、内部に熱がこもり、電池を損傷させ発火



衝撃

落下などによる衝撃で電池内部の損傷や変形により発火



取扱説明書をよく読む

正規品(PSE表示)を使用する

高温環境下で放置しない
異常(膨張等)があれば使わない



2025年 秋・冬
＜No.266＞

編集・発行
広島市危機管理室
082-504-2664

個別避難計画作成および避難訓練実施に関する事例集

広島市では、避難行動要支援者ごとに避難支援者や具体的な避難方法等を記載した「わたしのひなんシート(個別避難計画)」の作成や避難訓練など、避難の実効性を高める取組を進め、避難行動要支援者の避難支援体制の構築に取り組んでいます。

令和6年3月(令和7年4月改訂)に、計画作成や訓練実施に関する市内外の事例をとりまとめた「個別避難計画作成および避難訓練実施に関する事例集」を作成していますので、地域の実情に応じた取組の実施等にご活用ください。

●訓練をきっかけにした計画づくり(令和5年12月、安芸区矢野町自主防災推進協議会)

安芸区矢野西学区では、要支援者本人が支援者と一緒に訓練に参加し、実際に災害時の避難行動を確認することで、計画の作成や見直しを行いました。

これまで避難できと思っていた、実際に避難経路を辿ることで、当初計画していた避難経路の交通量が多く危険であることや、坂道では想像以上に体力を消耗することが判明しました。



訓練を通じた新たな気づきや発見をもとに、より実効性のある計画を作成することができ、良いきっかけとなりました。



避難訓練の様子

要支援者と支援者が一緒になって避難訓練に参加することで、実際の災害時の避難行動を確認・体験でき、避難ルートや避難方法、支援の実態をイメージできました。



支援者



炊き出し訓練・試食



◀ 詳細は、本市ホームページをご覧ください。

1013468

問合せ先:危機管理室危機管理課 ☎082-504-2653

☆「自主防災ひろしま」の紙面による配付を終了します。

「自主防災ひろしま」について、これまで自主防災会の会長様へ紙面により配付していたところですが、令和8年度以降、紙面による配付を終了し、市ホームページやSNSを活用したデジタル媒体による広報へ移行します。

紙面によりご覧いただいていた皆様にはご不便をおかけしますが、ご理解のほどお願いいたします。

【広島市公式LINE】



◀ 発行時にお知らせする予定です。
※「防災・危機管理」の情報を受信する設定としている方を対象に配信

【広島市ホームページ】



◀ 記事はこちらから

1021051

地域みんなで取り組む防災

自主防災会と他団体が力を合わせて取り組んだ訓練等を紹介します。

なお、本市では、自主防災会が充実した防災訓練等を実施できるよう、防災訓練補助金を交付しています。

●地域の団体と連携した防災フェア(令和7年8月、中区千田地区自主防災会連合会)

中区千田地区では、広島大学東千田キャンパスSENDA LABにて防災フェアを実施し、地域住民など185人が参加しました。この防災フェアは、地域の大学や、自主防災会、社会福祉協議会などが連携して実施しています。セミナーでは、災害から命を守るための備えや、災害関連死を防ぐための対策について、防災リーダーや有識者が講演を行い、参加者は熱心に耳を傾けていました。



有識者によるセミナー

その後、防災リーダーによる避難所を再現した展示と解説が行われ、避難所運営で気を付けるべきポイントについて、参加者同士で意見を出し合いながら考えました。

体験ブースでは、千田分団の消防団員の指導による消火活動体験や、女性消防団員によるAEDの操作体験、消防署による地震体験車の出展も行われ、参加者は「いつ起こるかわからない災害に備えて、実際にAEDなどを使用してきてよかった。」と話していました。



避難所の居室スペースの解説

●福祉避難所で行う防災訓練(令和7年6月、中区吉島西町内会自主防災会)



AED講習

中区吉島西町内会では、福祉避難所に指定されている福祉施設を会場とした防災訓練を令和5年度から実施しています。

今年も消防署によるAEDの講習のほか、地域の医師が作成した資料を基に、前町内会長による講演が行われ、「災害時は医療機関も被災しており、通常の医療サービスが受けられない可能性が高い。災害時、自分の命を守るため、普段から備えてほしい。」と説明されました。

梅野町内会長は、「以前は地域の集会所で防災訓練を実施していたが、より多くの人に参加してもらえるよう、集会所より収容人数の多い福祉施設に協力してもらい、実施した。今後も品川自主防災会会長をはじめとする地域の住民の皆様や施設の方々と連携・協力しながら新しい取組を進めたい。」と話していました。



講演「医療機関から住民に知っておいてほしいこと」

地域防災リーダー合同交流会を開催します!

今年度も、様々な活動を行う地域防災リーダーや消防団員によるブース出展等を通じて、地域防災リーダーをはじめとする皆様に自由に交流いただく「地域防災リーダー合同交流会」を開催します。

「地域で防災活動をしたいけど、どうしたらよいかわからない。」「活動の幅を広げるため他の防災リーダーとつながりたい!」という方、皆様お誘いあわせの上、お気軽にご参加ください♪

日時 令和7年11月15日(土)10:00~16:00

場所 広島市総合福祉センター(広島市南区松原町5番1号)

※事前申込不要、地域防災リーダーの方以外も参加できます。

1042011



詳細や最新の情報は本市ホームページをご覧ください。▶

問合せ先:危機管理室災害予防課 ☎082-504-2664

浸水害シミュレーション映像の公開について

市民の皆様に、より一層、災害を「我がこと」と感じていただけるよう、浸水害の発生時に自分たちの住む地域はどうなるのかというシミュレーション映像を試行的に作成することにしました。

今後、市内の主要な場所で映像を作成し、順次、広島市公式YouTubeで公開していきます。

公開した映像は、地域での防災訓練や研修会等でご覧いただき、身近な場所の被災状況をイメージするなど、避難意識の向上にお役立てください。

※地域活動で映像を活用する際は、本市への申請は不要です。ご自由にご利用ください。



1043323

▲シミュレーション映像



(例:広島市役所前で1mの浸水をシミュレーションした映像)

問合せ先:危機管理室災害予防課 ☎082-504-2664

傘 防災を「自分ごと」に一広島市豪雨災害伝承館へお越しください!

「広島市豪雨災害伝承館」は、平成26年8月豪雨の被災地において、「あのつらい思いを子や孫たち、そしてすべての人々に二度と経験してほしくない。」「またもし災害が起きても犠牲者が一人も出てほしくない。」という被災者の強い思いから、令和5年9月に開館しました。

なお、自主防災会で伝承館周辺の水害碑巡りをする場合は、バスの借上げ費用に防災訓練補助金を活用することができます。補助金については危機管理室災害予防課までお問い合わせください。

●広島市豪雨災害伝承館でできること

見る

展示スペースの見学

- ・土石流のCG映像を含めたガイダンス映像
- ・被害の全容(災害記録や2000点以上の写真など)
- ・復旧・復興の状況
- ・災害のメカニズム
- ・復興のあゆみ

研究室での防災・減災学習講座

学ぶ

- ・防災・減災教室(一般・高齢者・小・中・高校生向けなど)
- ・防災・減災のための研修会や講習会
- ・避難訓練
- ・救急・救命・AED学習
- ・防災グッズの紹介 など

被災者による語り継ぎ

- ・被災者のインタビュー映像・展示
- ・語り部による伝承
- ・被災者の体験談・ビデオ・映像

聴く

訓練などの体験学習

- ・かまどベンチでの炊き出し訓練・防災東屋※を備えた隣接公園での訓練
- ※災害時にテントをかけて救護施設などに使用
- ・被害の跡が残る場所や砂防施設の見学

体験する

●月ごとのテーマで深める防災知識

伝承館では、毎月、AEDの操作研修会や有識者による気象解説など、さまざまなテーマで研修や講演会などを実施しています。

▼研修のスケジュール等の詳細は、伝承館のホームページをご覧ください。



伝承館に関する問合せ先:広島市豪雨災害伝承館(一般社団法人梅林学区復興まちづくり協議会)

☎082-832-0091

防災訓練補助金に関する問合せ先:危機管理室災害予防課 ☎082-504-2664